

Q.1 つつが虫病とは どのような病気ですか。

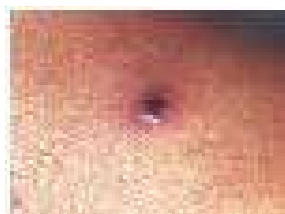
- ダニの一種の「つつが虫」の幼虫に刺されることで感染し、頭痛を伴う突然の発熱や発疹を来す病気です。
- つつが虫に刺された皮膚の刺し口に直径約1センチメートル程度の大きさのかさぶたができるのが特徴です。
- なお、この病気は、人から人へ感染することはありません。
- 早期に適切な治療を受ければ回復しますが、重症になることもあります。

Q.2 つつが虫病にかからないために どうすればよいのですか。

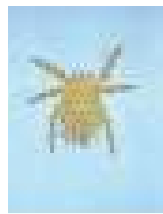
- ダニよけの薬剤を皮膚にすり込んでおくことは、ある程度有効です。
- 林や草むらに立ち入る場合は、できるだけ、長袖、長ズボン、長靴などを着用し、皮膚の露出を最低限にしましょう。
- 林や草むらに立ち立ったあとは、入浴し、よく身体を洗いましょう。

Q.3 つつが虫病にかかったら どうすればよいのですか。

- 早期に診断して適切な抗菌薬を服用することで治りますので、農作業やレクリエーションで林や草むらを歩き回ったあと、数日から2週間ほどして発熱と発しんが現れた場合には、医療機関を受診し、林や草むらを歩き回ったことを医師に伝えてください。



刺し口



タテツツガムシ

国立感染症研究所感染症情報センターでは、ホームページ上で、つつが虫病について解説していますので、こちらもご参照ください。